


# 海外研修（米国ハンフォード） 活動報告（2023.3.1-3.14）

東日本国際大学経済経営学部長・教授 河合 伸

2023.3.22



# 報告内容

- ワシントン州立大学トライシティーズ校 (WSU)
  - ワイン科学センター
  - モザイクセンター
  - キャリアセンター
  - ハンフォード歴史プロジェクト
- コロンビアベイスン短期大学 (CBC)
  - 日本語クラス
  - キャンパスツアー
  - ASCBCでの活動

# WSU

## ワイン科学センター

- ▶ 地元の農家やワイナリーなどワイン産業に携わる人々との意見交換するための、設備が整えられ、学生がブドウ栽培のフィールドワークをして、それを研究に活かす体制となっていました。
- ▶ 山火事の煙によるブドウ栽培の被害を逆手にとって、煙を用いてテイストを調整する研究で、最先端に行く、トム・コリンズ先生とその院生2人から、その研究内容についてお話を伺いました。



# WSU モザイクセンター

- ▶ 様々な文化的背景を持つ学生同士がお互いを尊重し、前向きに仲良くなっていくための取り組みがなされています。
- ▶ 相手のことを知るために、ワークシートを用いて楽しく交流できるような取り組みに参加しました。
- ▶ 学生もすぐに打ち解けていました。
- ▶ 学長も駆けつけてくださり、歓迎していただきました。



# WSU

## キャリアセンター

- ▶ インターンシップについての取組みを聴きました。
- ▶ 地元の企業が、WSUの学生を求めてエントリーし、8割から9割の学生がインターンシップを通じて職業体験をし、就職に結びつけているということでした。インターンシップの期間は3か月から最長で2年というものもあるそうです。写真はリニューアルしたてのブースで、就職に関するアドバイスの他、自習の空間としても活用されているとのことでした。

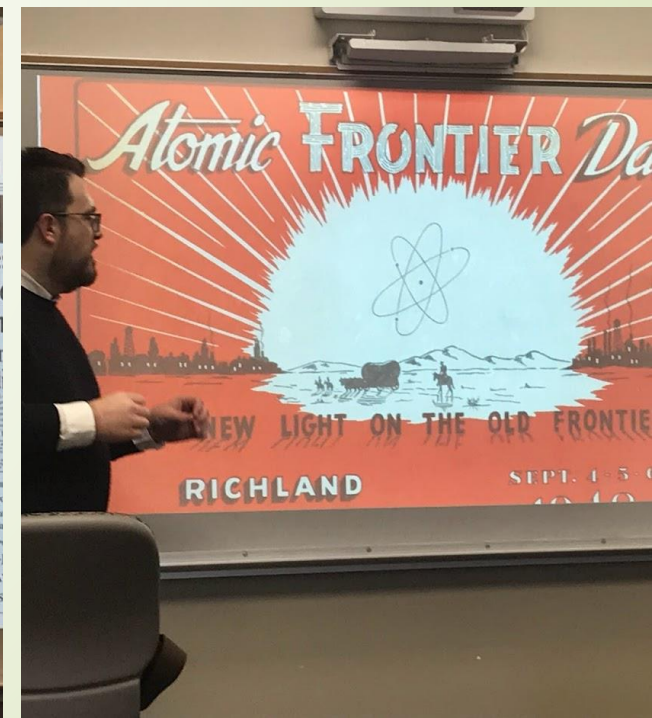
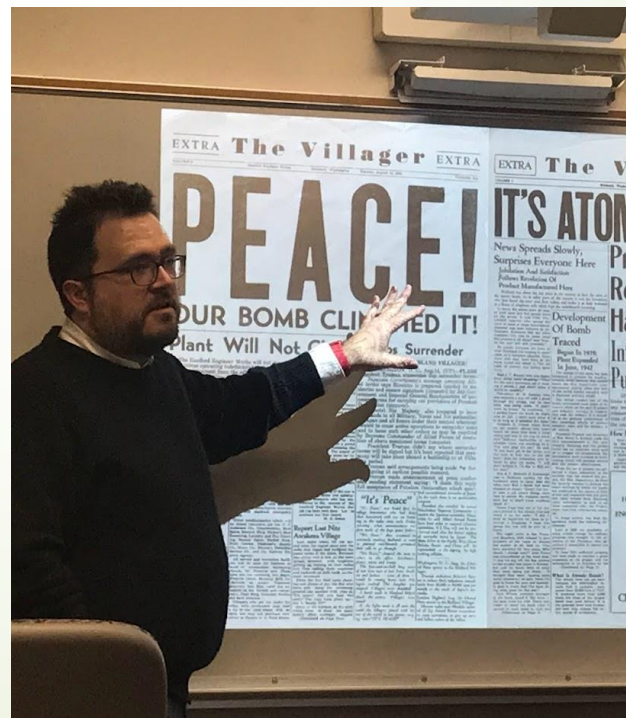


# WSU ハンフォード歴史プロ ジェクト

プロジェクトのADであるロバート・フランクリン氏による、ハンフォードの歴史についての講義を受けました。

- ・長崎に原爆が投下されるまで、ハンフォードで働いていた人々は自分たちが何を造っているのか知らされていませんでした。

- ・戦争が終わり、職を失いかけていた人々は、冷戦による軍拡競争によってふたたび職を得ることとなりました。



The image shows the exterior of the CBC Social Sciences & World Languages Center (SWL棟). The building features a prominent curved section with large glass windows and a brick facade. In the foreground, there are several vertical panels with portraits of diverse people. A large orange arrow-shaped graphic is overlaid on the bottom left, containing the text 'CBC' and 'Social Sciences & World Languages Center (SWL棟)'.

CBC

Social Sciences & World Languages Center (SWL棟)



# CBC

## 日本語クラス

ノリコ・ライダー先生が講師を務める日本語クラスで、日本語でのあいさつや折り紙を通して交流しました。

高校に通いながら、大学の授業も受けている学生も多くいました。



# CBC キャンパスツアー

▶ 全部で8学部ある広大なキャンパスをゴルフカートでめぐりつつ各学部の施設や特徴について説明を受けました。

▶ 学生のための自習スペースやフィットネスジムなど充実した設備がありましたが、それらは地元の企業や篤志家による寄付によって成り立っているということでした。

▶ 学びの内容も、ラムウェストン工場での機械整備や、原子力関連産業での作業、バイオテクノロジーを用いた農業など、地元の企業の即戦力となる内容が多く、学生の9割は地元就職するなど、好循環を生み出す仕組みとなっていることがわかりました。



# CBC ASCBC

- ▶ 学生たちの交流を目的とした施設があり、イベントのための工作道具一式がそろえられた部屋で、メインイベントとなるプレゼンテーションの準備をしました。
- ▶ 日本語クラスを履修している学生の多くが日本カルチャークラブのメンバーで、考えるより先に手が動いているかじで何の躊躇なく、作業に入り始める様子を見て、驚きました。

